

事務事業名 都市計画における地域地区・区域区分の見直し事務

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部都市政策G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる	開始年度	昭和 45 年度
施策	1	計画的な都市空間づくり	終了年度	平成 - 年度
基本的な方向	1	コンパクトな都市空間づくり	事業区分	
主要な施策	1	計画的な土地利用の推進	大型事業推進プラン	

目的	人口や産業などの社会状況を踏まえた適正な土地利用を図ることを目的とする。	前回評価
----	--------------------------------------	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 都市計画法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 【未実施】						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・平成32年度に予定されている市街化区域の見直し（北海道決定案件）に向け、調査・協議をすすめていく予定。	
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	目標
			計画

事務事業名 都市施設等の適正配置に伴う事務

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部都市政策G
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる	会計種別
施策	1	計画的な都市空間づくり	開始年度 平成 - 年度
基本的な方向	1	コンパクトな都市空間づくり	終了年度 平成 - 年度
主要な施策	2	都市機能の充実	事業区分
			大型事業推進プラン

目的	市民が利用しやすい都市形成を図ることを目的とする。	前回評価
----	---------------------------	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 都市計画法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	千円					
	道支出金	千円					
	地方債	千円					
	その他	千円					
	一般財源	千円					
	合計		0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 【未実施】						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	平成30年度に策定予定の室蘭都市圏交通マスタープランを基に、市街地間の連携強化等を目的とした都市計画道路の見直しを行う予定。	
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	目標
			計画

事務事業名 景観みどり推進経費

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部都市政策G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる	開始年度	平成28年度
施策	2	良好な景観の形成	終了年度	平成—年度
基本的な方向	1	地域性を活かした景観形成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	景観形成の推進	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民、事業者及び市が協働して、良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これらを次代へ継承していくことを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市景観とみどりの条例及び同条例施行規則の運用を円滑に行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・景観・みどり審議会及び景観・みどり推進会議の体制を確立させる。 ・景観・みどり推進会議においては、実働部隊という位置付けより活発に活動を行う。 ・条例に基づく各種案件の指定等。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市景観とみどりの条例及び同条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、事業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円				496	201	453
合計				0	0	496	201	453

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○登別市景観とみどりの条例に基づき、良好な景観と豊かなみどりづくりの推進に向けた取組を行った。 ・景観・みどり審議会の開催 1回 ・景観・みどり推進会議の開催 5回 ・講演会(景観・みどりセミナー)の開催 1回 ○景観・みどり審議会(10名)及び景観・みどり推進会議(17名)については、共に7月に各委員に委嘱を行い、体制を確立した。 ○景観・みどり推進会議については、市内の景観・みどりに関するワークショップや現地視察等を行い、委員間における条例の浸透及び意志疎通はできたと考えるが、実働部隊という位置付けからの活動は行えなかった。 ○条例に基づく各種指定等の作業については、市民等からの提案も無く、市としても候補の選別に時間が掛かっており、指定等には至っていない。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		条例に基づく各種の指定数	件				0	1
	推進会議による景観・みどりに関する活動への参加回数	回				0	5	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・市と推進会議が協働して景観・みどりに関する活動を行うこととしているが、実際は市主導のまま進んでいる状況である。 ・市内の良好な景観と豊かなみどりを保全するため、早期に各種指定等を行うことが必要である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・推進会議が自発的に活動していくようなシステムづくりのため、協議・調整を進めていく。 ・条例に基づく各種指定案件等については、候補を集約し、審議会に意見をきくなどして、指定等へ向けた作業を進める。	目標 市民、事業者及び市が協働して、良好な景観と豊かなみどりを守り、育て、つくり、これらを次代へ継承していく。 計画 左記の今後の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 景観とみどりに関する意識啓発

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部都市政策G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	1	暮らしやすい快適なまちをつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	2	良好な景観の形成	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	地域性を活かした景観形成	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	景観意識の啓発	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市民等へ景観とみどりに関する意識啓発を図ることで、良好な景観と豊かなみどりづくりを推進することを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市内の景観・みどりづくりの活動を広報紙、市HPなどを活用し情報を発信することで、景観とみどりへの関心を高める。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・市の景観・みどりに関する事業の紹介を行う。 ・登別市景観・みどり推進会議が主体の市民等への意識啓発活動の検討。 ・景観・みどりに関する意識啓発のための講演会の実施。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) ・登別市景観とみどりの条例 ・同条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民、事業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市民等の景観・みどりへの意識啓発のため、市で実施した景観・みどりに関する取り組みについて、広報紙、市HPにおいて情報発信を行ったほか、講師を招き講演会を実施した。 ○沿道美化事業、アイラブロード事業、新入学児童記念植樹の紹介 ○ときめき大学における景観とみどりの条例の講習会 ○登別市景観・みどりセミナーの開催 ○観察会（キウシト湿原）の紹介 ○みどりの講習会の開催						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		景観形成に関する情報発信の回数	回				17	20

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市民等への意識啓発にあたり、次の事項が課題となった。 ・広報紙や市HPだけでなく、広く市民等へ情報発信を行う方法が必要となった。 ・市民等が理解しやすく、入りやすい手法による意識啓発が必要であった。 ・登別市の景観とみどりの魅力の情報を提供することが必要であった。 ・市のみではなく、各団体が行っている活動の情報も必要であった。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・広報紙、市HPのほか、SNSを活用した情報発信を行う。 ・推進会議委員が所属する団体の景観とみどりに関する活動の情報発信を行う。 ・登別市の良好な景観と豊かなみどりを認識してもらうため、誰もが分かりやすい写真による情報発信を行う。 ・沿道美化事業などを継続して実施する。	目標 市内の景観・みどりづくりの活動を広報紙、市HPなどを活用し情報を発信することで、景観とみどりへの関心を高める。 計画 ・推進会議による活動状況や市の活動について、Facebookを活用し情報発信及び参加の呼びかけを行う。 ・登別市の良好な景観と豊かなみどりを題材にしたフォトパネル展を実施する。 ・景観・みどりセミナーやみどりの講習会を実施する。 ・沿道美化事業、アイラブロード事業などを継続して実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 都市公園施設長寿命化事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	一般会計
施策	1	快適な住環境づくり	開始年度 平成 23 年度
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全	終了年度 平成 32 年度
主要な施策	1	安全で安心できる公園整備の推進	事業区分 ハード事業
			大型事業推進プラン 登載事業

目的	都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、公園施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 利用者の安全・安心を確保する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、公園施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 都市公園法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 公園施設（都市公園法第2条）

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
国庫支出金	都市公園施設長寿命化事業費補助金	千円	16,000	15,876	16,000	13,184	18,800
道支出金		千円					
地方債		千円	15,800	15,700	15,800	12,800	18,200
その他		千円					
一般財源		千円	3,300	3,246	3,700	3,839	4,094
合計			35,100	34,822	35,500	29,823	41,094

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 都市公園を対象に、公園施設の改築、修繕等を行った。 【事業実績】 ・公園施設改築 3公園 ・実施設計 一式 ・公園施設修繕 一式						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	施設改築実施公園数		か所		8	2	3	7
長寿命化計画に基づく都市公園における遊具の健全度		%			70	73		

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・交付金が減額傾向である。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	大型事業推進プランに掲載されている事業であり、計画的に改築修繕を行っていく。	目標 利用者の安全・安心を確保する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 都市公園施設の計画的な改築等を行うことにより、公園施設の長寿命化を図るとともに、利用者の安全・安心を確保し、快適な住環境づくりを推進する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別市街区公園等清掃交付金事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 6 年度
施策	1	快適な住環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	民間活力による公園・緑地の管理・運営	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	街区公園等の維持管理を町内会の協力を得ながら行うことにより、生活に身近なこれらの公園等の景観を保持するなど、快適な住環境づくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 街区公園や広場を安全で快適に利用できるよう、地域住民と協力し適正な維持管理を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市街区公園等清掃交付金取扱要領	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 町内会 (登別市街区公園等清掃交付金取扱要領)

事業費(財源内訳) Plan ↓ Do	名称	単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円				
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	610	610	610	610	620
	合計		610	610	610	610	620

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付した。 【事業実績】 ・実施町内会 40町内会 ・実施公園数 51か所						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		交付対象町内会数	町内会	41	42	41	40	41
	交付対象公園数	か所	55	56	52	51	52	

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・高齢化により参加町内会が減となった。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	町内会と協議をしながら本事業を進めていく。	目標 街区公園や広場を安全で快適に利用できるよう、地域住民と協力し適正な維持管理を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 地域の身近な憩いの場として利用される街区公園等の維持管理の一部に協力する町内会に対して、その要する経費として交付金を交付する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 公園維持管理経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	会計種別
施策	1	快適な住環境づくり	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	2	民間活力による公園・緑地の管理・運営	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	公園・広場の遊具等施設の修繕や、各市道の街路樹の維持管理を行い、安全で快適な利用を維持することを目的とする。	前回評価
----	--	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 公園・広場の遊具等施設の修繕や、各市道の街路樹の維持管理を行い、安全で快適な利用を維持する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うとともに、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 公園・広場

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	83,496	82,552	85,198	84,268	85,407
合計			83,496	82,552	85,198	84,268	85,407

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うとともに、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		公園・広場施設修繕件数	件	35	22	33	21	35

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・施設の老朽化
-----------------	--------	---------------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うとともに、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を行う。	目標 公園・広場の遊具等施設の修繕や、各市道の街路樹の維持管理を行い、安全で快適な利用を維持する
	【2次評価】	行政評価会議	計画 市内各公園・広場の遊具等施設の修繕など維持管理を行うとともに、市内の各市道に植栽されている街路樹の剪定など維持管理を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 緑化推進経費

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	一般会計
施策	1	快適な住環境づくり	開始年度 平成 4 年度
基本的な方向	1	身近な公園・緑地等の創出と保全	終了年度 平成 年度
主要な施策	3	みどりの創出と保全	事業区分
			大型事業推進プラン

目的	市民参加による各種事業を行うことにより、みどり豊かなまちづくりを推進することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) みどり豊かなまちづくりを推進する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	3,968	3,960	3,960	3,958	3,877
合計			3,968	3,960	3,960	3,958	3,877

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行った。 【主な事業】 ・市民緑化推進事業 ・沿道美化事業 ・みどりの講習会						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市民緑化推進事業参加町内会数	町内会	60	59	58	57	67

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・市民緑化推進事業参加町内会数が減少した。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・豊かなみどりづくりを推進するため、今後も継続して市民や関係団体と協働で取り組んでいく。	目標 みどり豊かなまちづくりを推進する
	【2次評価】	行政評価会議	計画 緑化の推進やみどりに対する意識の高揚を図るため、市民参加により各種事業を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 送配水施設整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部水道G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	水道事業会計・資本的収入及び支出
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	快適な住環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	安全で安心な水の安定供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	安全な水道水の供給	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 水道施設の健全性を維持するため、中長期的な視点で施設全体の予防保全的な調査や補修、更新等の整備を行い、「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」さらに「安定した水道事業の運営の持続」を図ることを目的とする。

前回評価

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」「安定した水道事業の運営の持続」に向けて配水管改良工事等を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・配水管改良事業 L=1,100m ・配水管新設事業 L=360m	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 水道法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 配水管

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円		247,500	239,500	295,900	195,900	352,800
その他		千円						
一般財源		千円		91,754	75,116	15,609	8,712	166,056
	合計			339,254	314,616	311,509	204,612	518,856

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・配水管改良事業 L=1,058m ・配水管新設事業 L=319m						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		上水道石綿セメント管の更新	m	1,979.7	1,751.7	1,719.7	1,478.0	1,225.0
	浄水施設の耐震化率	%	0	0	0	0	0	

課題等の状況 平成28年度
 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
 ・水道施設において、今後10年間に耐用年数を迎える施設が多くあり、更新需要の増加が見込まれる。

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・登別市水道事業ビジョンに掲げた主要施策の実施計画と整合性を図りながら、登別市水道施設整備計画に基づき、計画的かつ効率的な水道施設の改築・更新を行う。	目標 「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」「安定した水道事業の運営の持続」に向けて計画的かつ効率的な水道施設の改築・更新を行う。 計画 ・登別市水道施設整備計画に基づき、計画的かつ効率的な水道施設の改築・更新を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 簡易水道施設送配水施設整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部簡易水道G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	簡易水道事業特別会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	快適な住環境づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	安全で安心な水の安定供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	2	確実な給水の確保	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 簡易水道施設の健全性を維持するため、中長期的な視点で施設全体の更新等の整備を行い、「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」さらに「安定した簡易水道事業の運営の持続」を図ることを目的とする。

前回評価

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」「安定した簡易水道事業の運営の持続」に向けて配水管改良工事等を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・配水管改良工事 L=240m	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 水道法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 配水管、札内浄水場

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円		15,700	15,700	15,300	15,300	15,200
その他		千円						
一般財源		千円		1,302	2,034	437	134	800
	合計			17,002	17,734	15,737	15,434	16,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・配水管改良工事 L=252m						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)
・簡易水道の管路施設は、管路延長全体の約6割が耐用年数を経過しており、今後も更新需要の増加が見込まれる。

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
【1次評価】	担当グループ	目標 「安全な水道水の供給」「確実な給水の確保」「安定した簡易水道事業の運営の持続」に向けて配水管改良事業等を実施する。 計画 ・平成31年度から公営企業会計へ移行する予定であることから、経営状況が明らかとなることにより、簡易水道施設全体の事業計画の見直しを検討する。
継続	・簡易水道施設の計画的かつ効率的な改築・更新を検討し、配水管改良工事を行う。	
【2次評価】	行政評価会議	
継続		
【3次評価】	総合	

事務事業名 簡易水道法適化事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部簡易水道G
章節	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	簡易水道事業特別会計
施策	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 28 年度
基本的な方向	1	快適な住環境づくり	終了年度	平成 30 年度
主要な施策	2	安全で安心な水の安定供給	事業区分	ソフト事業
	3	安定した水道事業運営の持続	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	簡易水道事業については、総務省より平成32年度予算から企業会計に移行（法適化）するよう要請があったが、移行することによって、自らの経営状況や資産状況等を把握し、効率的な事業運営を行うことが可能となることから、法適化を円滑に進めることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 法適化に向けての基礎調査を行う	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 法適用に伴う課題の整理、基本方針、業務計画工程表の作成 資産調査として、資料収集、決算書、工事台帳の整理を行う	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 平成27年1月27日付の総務省からの通達「公営企業会計の適用の推進」に基づき実施	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円				3,500	3,200	4,700
その他		千円						
一般財源		千円				64	94	52
	合計			0	0	3,500	3,200	4,700

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 簡易水道事業の法適化を行うにあたって、課題を整理するなどの基礎調査を行った。そのうえで、法適用の時期を平成31年4月と定め、平成29年度と平成30年度の2か年間で現在保有している資産の調査及び評価を行うこととする基本方針を定めた。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 資産調査に時間を要する。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	現況施設の補足調査等も行い、可能な範囲で資産調査を行う。	目標 基礎調査を基に、本格的な資産調査・評価を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 資産調査・評価を行い固定資産台帳を作成する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 要緊急安全確認大規模建築物耐震化促進事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震診断結果の報告が義務付けられた要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成することにより、要緊急安全確認大規模建築物の耐震化を促進する。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・平成28年度に補強設計補助1棟、耐震改修補助1棟を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 建築物の耐震改修の促進に関する法律、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市民間大規模建築物耐震改修事業補助金要綱、登別市民間大規模建築物耐震診断補助金交付要綱、登別市民間大規模建築物	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 所有者

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	20,250	9,986	18,368	16,106	4,423
道支出金	民間大規模建築物耐震事業費補助金	千円	40,500	19,972	36,736	32,211	8,847
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	20,254	9,988	18,369	16,106	4,424
合計			81,004	39,946	73,473	64,423	17,694

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成した。 ・対象建築物数 6棟 ・平成28年度実施建築物数 2棟（補強設計1棟、耐震改修1棟） ・助成額 補強設計に要する費用の23% 耐震改修に要する費用の23%						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		耐震診断実施棟数	棟	-	1	5	-	-
		補強設計実施棟数	棟	-	-	1	1	3
		耐震改修実施棟数	棟	-	-	0	1	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・当該補助制度は、「国の交付金」及び「北海道の補助金」の活用が不可欠であることから、所要額の確保が必要である。 ・当該建築物の耐震化の実施は、所有者の意向が強く反映されることから、市が補助金を交付するための予算措置（額及び時期）が難しい。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	拡大	当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。なお、すべての当該建築物が法定期限内で耐震診断を終了したことから平成29年度以降は、補強設計及び耐震改修に要する費用助成のみ実施する。なお、今後は北海道の新たな補助制度（避難所に適用）を活用し、耐震改修の補助率嵩上げを行う。(23%→2/3)	目標 要緊急安全確認大規模建築物の所有者に対し、耐震化に要する費用の一部を助成する。 計画 平成29年度に補強設計補助3棟を実施する予定。 新たな補助制度の活用。 ・避難所として協定締結 ・耐震改修の補助率嵩上げ 23%→2/3
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 民間特定既存耐震不適格建築物耐震化促進事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震化の努力義務が課せられている民間の特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成することにより、特定既存耐震不適格建築物の耐震化を促進する。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度に1棟の耐震診断に要する費用の一部を助成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 事業についてホームページ及び広報のぼりべつ6月号に掲載し、周知を行う。 広報のぼりべつ6月号で申請がなかった場合、引き続き8月号に掲載する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存民間建築物耐震診断補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 所有者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	2,000	957	1,000	0	1,000
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	2,000	957	1,000	0	1,000	
	合計		4,000	1,914	2,000	0	2,000	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 特定既存耐震不適格建築物の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成する。 ・助成額 耐震診断に要する費用の2/3 (限度額200万円)				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		耐震診断実施棟数	棟	-	0	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・昨年度に本事業を活用し耐震診断を実施している建築物も含め、耐震診断の結果、耐震性を満たさないと判定された場合に、耐震改修に対する市の支援策が今後課題となる。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。 耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該建築物に対する耐震化への支援策について、今後検討する。	目標 平成29年度に1棟の耐震診断に要する費用の一部を助成する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 事業についてホームページ及び広報のぼりべつ6月号に掲載し、周知を行う。 広報のぼりべつ6月号で申請がなかった場合、引き続き8月号に掲載する。
【3次評価】	総合		

事務事業名	木造住宅耐震化促進事業	
-------	-------------	--

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	良好な民間住宅の供給促進	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	民間住宅の改善誘導	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	建築物の耐震改修の促進に関する法律により耐震化の努力義務が課せられている民間の木造住宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成することにより、木造住宅の耐震化を促進する。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 平成28年度に2棟の耐震診断に要する費用の一部を助成する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 事業についてホームページ及び広報のぼりべつ6月号に掲載し、周知を行う。 広報のぼりべつ6月号で申請がなかった場合、引き続き8月号に掲載する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 建築物の耐震改修の促進に関する法律、登別市既存木造住宅耐震診断補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 所有者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	125	0	50	0	50
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	125	0	50	0	50	
合計				250	0	100	0	100

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 木造住宅の所有者に対し、耐震診断に要する費用の一部を助成する。 ・助成額 耐震診断に要する費用の2/3 (限度額5万円)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		耐震診断実施棟数	棟	-	0	0	0	2

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・現時点で本事業の活用実績はないが、今後本事業を活用し耐震診断を実施した結果、耐震性を満たさないと判断された住宅が出た場合に、当該住宅に対する耐震化への支援策が課題となる。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	当該建築物の耐震化を促進するために今後も事業を継続する。耐震診断の結果、耐震性を満たさない当該建築物に対する耐震化への支援策について、今後検討する。	目標 平成29年度に2棟の耐震診断に要する費用の一部を助成する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 事業についてホームページ及び広報のぼりべつ6月号に掲載し、周知を行う。 広報のぼりべつ6月号で申請がなかった場合、引き続き8月号に掲載する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 良好な宅地供給のための適正な指導事務

区分	No.	名称	部・グループ
章節	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部建築住宅G
施策	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	
基本的な方向	2	優良な宅地の供給促進	
主要な施策	1	安全で優良な宅地供給の誘導	
			会計種別
			開始年度
			終了年度
			事業区分
			大型事業推進プラン

目的	都市計画法に基づく開発行為の許可等において、法による技術上の安全基準等を遵守するとともに、北海道及び公共施設管理者と連携し、宅地分譲等事業者に対する適正な指導を行うことにより、良好な宅地の供給を図る。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 権限委譲市として都市計画法に基づく開発行為の許可等において、法令等により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。	
	計画	開発行為事前協議において、道路、給排水施設等を備え、かつ、敷地の安全上必要な措置が講じられている等、都市計画法による技術基準や北海道の「開発許可制度の手引き」の内容について、十分協議を行う。 必要に応じて、公共施設管理者等と協議、北海道からの助言など関係機関との連携により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 都市計画法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 事業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 開発行為事前協議において、事業者等と十分協議を行い、良好な宅地が整備された。 必要に応じて公共施設管理者との協議を行い、道路、給排水施設等を備え、安全上必要な措置が講じられた宅地の整備が行われた。				
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績
		宅地分譲に関する開発行為許可申請	件	2	1	0

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 都市計画法や北海道の「開発許可制度の手引き」の改正などに注視し、適正な指導を行う。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標
	継続	良好な宅地供給を図るため今後も事業を継続する。	権限委譲市として都市計画法に基づく開発行為の許可等において、法令等により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続	【3次評価】	総合	開発行為事前協議において、道路、給水節等を備え、かつ、敷地の安全上必要な措置が講じられている等、都市計画法による技術基準や北海道の「開発許可制度の手引き」の内容について、十分協議を行う。 必要に応じて、公共施設管理者等と協議、北海道からの助言など関係機関との連携により、事業者に対する良好な宅地供給のための適正な指導を行う。

事務事業名 市営住宅非常用照明改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 22 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市営住宅の非常用照明を改修することにより、地震、火災等で発生する停電時における入居者の安全を確保することを目的とする。	前回評価
----	---	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、登別市営住宅条例、建築基準法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		改修した非常用照明器具数	台	0	60	0	0	0
		停電時における入居者の安全性が向上した住戸数	戸	0	120	0	0	0

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	<ul style="list-style-type: none"> 設置から一定期間が経過した避難経路の非常用照明器具を順次改修する。 事業費の平準化に努め、継続して改修を行う。 	<p>目標</p> 地震、火災等で発生する停電時における入居者の安全を確保するため、法令で設置を義務付けられた非常用照明器具について、使用年数を踏まえ順次改修を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	<p>計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 左記の今後の取組を実施する。 平成30年度より非常用照明器具の使用年数を踏まえ順次改修を実施する。
【3次評価】	総合		

事務事業名 市営住宅物置建替事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	老朽化した市営住宅物置の改修等を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができる住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 未実施	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 未実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法・登別市営住宅条例、登別市営住宅等長寿命化計画、社会資本整備総合交付金要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円					6,600	
合計				0	0	0	0	6,600

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		物置を改修又は建替した住戸数	戸	0	24	0	0	48
		物置建替等により住環境が向上した住戸数	戸	0	24	0	0	48

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 未実施
--------	--------	-----------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・市営住宅等長寿命化計画に基づき住棟の長寿命化を勘案し、物置建替等事業を実施する。 ・事業実施にあたっては、物置の劣化状況に応じ、建替又は外壁等改修を行う。	・入居者が快適で安全な生活ができる住環境の改善等のため、老朽化した物置を順次建替又は外壁等改修を行う。 ・左記の今後の取組を実施する ・住棟の長寿命化が完了した柏木団地について、平成29年度から平成33年度において外壁等改修を行う。 ・千歳団地について、住棟の長寿命化に併せ平成31年度から平成35年度に劣化状況に応じた改修を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 市営住宅屋根外壁改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	老化した市営住宅の外部改修を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老化した市営住宅の外部改修を行い、住棟躯体を保護するとともに、住戸内の雨漏りの防止を図る。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・外壁の劣化状況を勘察し、市営住宅幌別東団地1棟（75R3号棟）のベランダ面の外壁下地改修、外壁塗装等の外部改修を実施する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、登別市営住宅条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅（幌別東団地）

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円	6,700	6,700	7,000	6,800	8,000
その他		千円					
一般財源		千円	2,300	2,264	2,450	2,272	2,700
合計			9,000	8,964	9,450	9,072	10,700

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市営住宅幌別東団地1棟（75R3号棟）のベランダ面の外壁下地改修、外壁塗装等の外部改修を実施した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		改修棟数	棟	-	-	1	1	1

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・外壁の劣化状況等を考慮して改修を行う住棟に優先順位を定め計画的に事業を実施する必要がある。 ・外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を実施する必要がある。	
-----------------	--------	---	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ ・海に近く、外壁の劣化が著しい幌別東団地について、改修を継続する。 ・改修を行う住棟については、劣化状況等を考慮して優先順位を定め計画的に事業を実施する。 ・外壁の劣化状況によりベランダ面以外の外壁についても改修を検討する。	今後の目標・計画【Plan】 目標 老化した市営住宅の外部改修を行い、住棟躯体を保護するとともに、住戸内の雨漏りの防止を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・左記の今後の取組を実施する ・幌別東団地について、平成29年度は75R6号棟の外壁（ベランダ面）改修を行い、平成30年度以降も順次改修を行う。
	【3次評価】	総合	

事務事業名 市営住宅（千代の台団地）建替事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 25 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 35 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、居住性能の向上を図ることを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、居住性能の向上を図るため、老朽化した市営住宅（千代の台団地）の建替を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・建替敷地の土壌汚染の状況を把握するため、土壌汚染状況調査を行う。 ・土壌汚染状況調査結果を踏まえ、平成27年度から繰越明許した基本設計を引き続き行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、土壌汚染対策法、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市営住宅等長寿命化計画、登別市営住宅条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅（千代の台団地）

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	43,212	10,090	28,585	20,742	40,914
道支出金		千円						
地方債		千円	32,300				39,500	
その他		千円						
一般財源		千円	11,213	13,402	33,653	25,812	1,415	
合計				86,725	23,492	62,238	46,554	81,829

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○土壌汚染状況調査結果を踏まえ、入居者に安心して快適に暮らせる住まいを提供するため、安全性や経済性を考慮した基本設計をまとめた。 ・建替後の住棟数・管理戸数 4棟68戸						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	基本設計・実施設計が完了した住戸数		戸	-	-	-	68	56
居住性能が向上した住戸数（建設戸数）		戸	-	-	-	-	-	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 今後の建替事業の実施にあたり、安全性や経済性を考慮することが必要である。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・課題等の状況を踏まえ、1号棟の建設に向け、平成29年度に実施設計、一部入居者の移転及び一部住棟の除却を行う。 ・平成30年度に1号棟の建設工事に着手する。 ・平成35年度の事業完了に向け、適宜実施設計等を行い、事業を実施する。	目標 住宅に困窮する市民の居住の安定を確保するとともに、居住性能の向上を図るため、老朽化した市営住宅（千代の台団地）の建替を実施する。 計画 ・実施設計については平成29年度に1号棟、平成32年度に集会所、平成33年度に2号棟から4号棟を行う。 ・建設工事については平成30年度に1号棟、平成33年度に集会所、平成34年度に2号棟から4号棟の建設に着手する。 ・入居者の移転及び既存住棟除却については、平成29年度より事業進捗に応じ実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 市営住宅周辺整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 老朽化した市営住宅付帯施設の改修等を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができる住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。

前回評価

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 未実施	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 未実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、登別市営住宅条例	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅

Plan ↓ Do 事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					2,100
	その他		千円					
	一般財源		千円					1,800
合計				0	0	0	0	3,900

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	集会所屋根葺替、塗装	棟			0	0	0	1
	外灯取替	灯			2	0	0	1

Check
課題等の状況 平成28年度 未実施 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

評価	今後の取組【Action】	今後の目標・計画【Plan】
継続	【1次評価】 担当グループ ・集会所の屋根及び外灯等の劣化状況等を考慮して優先順位を定め計画的に事業を実施する。	目標 入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善等のため、集会所の屋根及び外灯等の劣化状況等を考慮して順次改修を行う。 計画 ・平成29年度は柏木団地集会所の屋根葺替及び柏木団地の外灯取替を行う。
	【2次評価】 行政評価会議	
	【3次評価】 総合	

事務事業名 耐震改修促進計画見直し事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 29 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産を確保するため、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づく、次期「登別市耐震改修促進計画」を策定することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 登別市耐震改修促進計画の次期計画を策定する	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 耐震化の現状調査等のため市民へアンケート調査を行う（8月） 庁内検討部会の開催（11月） 計画書の策定。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 建築物の耐震改修の促進に関する法律	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市民

事業費 (財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	2,125	1,090	1,175	0	1,081
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円	2,125	1,092	1,175	0	1,082
合計				4,250	2,182	2,350	0	2,163

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 平成27年度に市内の住宅・建築物の耐震化状況を把握するための基礎調査を実施し、これをもとに、平成28年度に平成32年度までの耐震化率の目標設定、耐震化に向けた施策の検討等を行う。						
	指標		単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	登別市耐震改修促進計画基礎調査業務委託		%			100	-	-
登別市耐震改修促進計画見直し業務委託		%				90	10	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 耐震化率の目標達成のためには、多数の民間施設の耐震診断及び耐震改修を実施することが必要となり、耐震化に要する費用を補助するなどの施策展開が必要となる。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	終了	市内の住宅・建築物の耐震化を促進することを目的とするため今後も事業を継続する。	目標 平成29年度に繰越明許した計画の一部の策定を実施する
	平成29年度	行政評価会議	計画 第2回庁内検討部会を開催する パブリックコメントの実施及び結果の報告を実施する
【2次評価】	終了	総合	
【3次評価】			

事務事業名 市営住宅除却事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 27 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 34 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	耐用年数を過ぎた不良住宅の解消及び目標管理戸数の推進を図るとともに、老朽化が著しい市営住宅を除却することにより、地域の防犯性、景観の向上を目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老朽化したコンクリートブロック造平屋建ての市営住宅の除却工事を実施する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・ 緑ヶ丘団地 1棟2戸 ・ 富浦団地 1棟4戸	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、社会資本整備総合交付金交付要綱、登別市営住宅等長寿命化計画	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅（緑ヶ丘団地、富浦団地）

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	256	245	3,485	3,014	
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	257	247	4,015	3,315		
合計				513	492	7,500	6,329	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 老朽化したコンクリートブロック造平屋建ての市営住宅の除却工事を実施した。 【除却する団地】 緑ヶ丘団地 1棟2戸 富浦団地 1棟4戸 計2棟6戸						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	除却戸数	戸				0	6	0
	入居者の移転戸数	戸			3	0	0	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・ 移転戸数分の空き家の確保が必要がある。 ・ 移転先となる市営住宅の内部修繕費用に係る予算の確保が必要がある。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・ 市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年限を経過し、老朽化が著しい市営住宅の用途廃止及び除却を行う。	目標 維持管理費の削減、景観の改善、地域の防犯性を確保するため、老朽化が著しい市営住宅の用途廃止及び除却を行う。 計画 ・ 市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年限を経過し、老朽化が著しい市営住宅の用途廃止及び除却を順次行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 市営住宅給水設備改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成29年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成—年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	停電時に給水不能となる市営住宅給水設備を直結方式に改修することにより、安定した給水を確保し入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 未実施	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 未実施	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市営住宅等長寿命化計画、公営住宅法、登別市営住宅条例、社会資本整備総合交付金要綱、登別市給水装置工事標準計画・施工指針	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円					9,160
合計			0	0	0	0	9,160

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施					
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
	調査した団地数	団地					8

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 未実施
--------	--------	-----------------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・既存受水槽方式から直結給水方式への改修を実施するための調査を行う。	目標 安定した給水を確保し入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図るため、既存受水槽方式から直結給水方式への改修を実施する。 計画 ・平成29年度は直結給水方式導入の可否について調査を実施する。 ・平成30年度以降は調査結果を踏まえ順次改修を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 登別温泉団地浄化槽改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 28 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	登載事業

目的	老朽化した既存の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に改修することにより、入居者が快適で安全な生活ができるよう住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。	前回評価	
----	--	------	--

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 老朽化し処理能力が低下した単独処理浄化槽を新たに合併処理浄化槽へ改修するための現地調査等を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 合併浄化槽の設置場所等を検討するため、現地調査等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、建築基準法、登別市営住宅等長寿命化計画、浄化槽法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 市営住宅（登別温泉団地1号棟）

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						3,700
その他		千円						
一般財源		千円				300	297	1,290
合計				0	0	300	297	4,990

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 老朽化し処理能力が低下した単独処理浄化槽を新たに合併処理浄化槽へ改修するための現地調査等を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		調査、実施設計が完了した棟数	棟				1	1
		改修棟数	棟				-	-

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・敷地に余裕がないため合併浄化槽の設置場所や配管ルートの検討が必要である。 ・浄化槽法において、水環境保全のために単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ速やかに改修する必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・課題等の状況を踏まえ、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ改修するため、平成29年度に実施設計を行う。 ・平成30年度に単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ改修する。	目標 老朽化が進み、処理能力が低下した単独処理浄化槽を新たに合併処理浄化槽へ改修するため実施設計を行う。 計画 ・平成29年度は実施設計を行い、平成30年度は単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ改修を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	

事務事業名 市営住宅（見晴団地）大規模改修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 29 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ハード事業
主要な施策	1	計画的な改修整備	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	老化した市営住宅の改修を行うことにより、入居者が快適で安全な生活ができる住環境の改善及び市営住宅の機能の維持を図ることを目的とする。	前回評価
----	--	------

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください)	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください)	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、登別市営住宅条例、建築基準法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市営住宅（見晴団地）

Plan ↓ Do 事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
合計				0	0	0	0	0

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】 目標 未定 計画 未定
	【2次評価】	行政評価会議	
	【3次評価】	総合	

休止

休止

事務事業名 市営住宅における民間活力の導入の検討事務

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部建築住宅G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	2	良好な住環境と都市機能が調和したまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	2	良好な居住空間づくり	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	3	良好な市営住宅の供給	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	効果的・効率的な管理・運営	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	民間活力の導入により、市営住宅の管理（入居者管理・施設維持管理）の充実及び費用の削減、市営住宅入居者へのサービスの向上を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市営住宅における指定管理者制度の導入について情報収集を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・インターネット等により他の自治体における指定管理者制度の導入状況について情報収集を行う。 ・登別市内の民間事業者に対し指定管理者制度の導入に関する聞き取りを行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 公営住宅法、登別市営住宅条例、登別市営住宅条例施行規則	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 登別市営住宅

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円						
合計				0	0	0	0	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ソフト面及びハード面において指定管理を実施可能な事業者の調査を行うほか、既の実施している自治体の情報収集等を行い、指定管理者制度導入の可能性について検討を行った。 【他自治体における指定管理者制度の導入状況】 ・道及び道内6市（札幌市、函館市、釧路市、小樽市、千歳市、滝川市）で公営住宅の指定管理者制度を導入（導入予定含む） ・道は事業者の所在地に関わらず指定管理者を指定しており、他市では地元事業者又は公社による受託が多かった。 ・胆振管内では札幌市の事業者2社が道営住宅（苫小牧市、室蘭市）の指定管理を受けており、本市の市営住宅についても指定管理を希望する見込みがある。 ・委託料の積算については、各自治体の規定が公開されていないため詳細は不明 【市内事業者への聞き取り調査】 ・市内の不動産業者及び建設業者に公営住宅の指定管理について意向を確認 ・事業者からは、人員配置や事務所開設等の投資に対する収益の確保や入居者の管理について懸念があげられ、受託に消極的な様子がうかがえた。				
	指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 市営住宅における指定管理者制度導入について情報収集を行ったところ、次の課題があげられた。 ・市内で指定管理を実施可能な事業者があるか不明 ・委託料の積算方法によっては維持管理経費の削減に効果がない可能性がある。 ・市外事業者が指定管理を受託した場合の市内業者（修繕発注等）への影響
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・先進自治体の実施状況について視察を行い、制度導入後の成果等について調査を行う。 ・指定管理者制度導入による管理費用削減や事務分担による業務削減等の制度導入による効果について検証する。 ・市外事業者を含め指定管理の実施が可能な事業者の調査を行う。	目標 市営住宅における指定管理者制度の導入について情報収集を行い、登別市における指定管理者制度の導入について検討を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 ・左記の「今後の取組」を実施する。 ・指定管理者制度導入について方針を作成し、関係部署と協議を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 道道上登別室蘭線3・4・313東通改良受託事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部都市政策G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成28年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成30年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	2	幹線道路の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市の総合的な交通網整備を推進することで、道路交通の円滑化や道路利用者の安全確保を図ることを目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 円滑な道路整備の実施に向け、用地買収等について計画通り契約を締結できるよう折衝をすすめる。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・事前説明及び本契約に際し、折衝対象者が不安とならないよう内容について分かりやすく説明するとともに誠実に対応する。 ・平成28年度は、対象者4件との契約事務を完了する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 都市計画法、土地収用法	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 用地補償対象者、当該道路の通行者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金			千円				
道支出金	道道上登別室蘭線東通改良受託事業費委託金		千円			71,200	71,379	147,083
地方債			千円					
その他			千円					
一般財源			千円			24	1	6,142
	合計			0	0	71,224	71,380	153,225

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ○北海道により進められている道道上登別室蘭線東通の拡幅改良事業のうち、用地買収及び物件移転等の補償業務を北海道から委託を受けて実施した。 ・用地買収 一式 ・物件移転補償 一式 ○年度内に対象者4件と契約を締結し、北海道において登記事務を完了し、計画通り進捗した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		事業実施件数	件				4	4

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・平成28年度事業費については、国からの北海道に対する交付金が大幅に減額となり、当初の事業計画を大幅に見直さざるを得ない状況となったことから、次年度以降も計画通り事業が進捗できるよう、国に対し、北海道とともに引き続き要望していく。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・早期の道路整備の実現に向け、次年度以降も計画通りの事業費が交付金として受けられるよう、国に対し、北海道とともに引き続き要望していく。 ・第1工区の残りの用地補償対象者が不安とならないよう誠実に対応していく。	目標 円滑な道路整備に向け、用地買収等について計画通り契約を締結できるよう折衝をすすめる。 計画 左記の今後の取組を実施する。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 道路台帳整備事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	一般会計
施策	1	総合的な交通網の整備	開始年度 昭和 55 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	終了年度 平成 年度
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	適切な市道の管理事務を円滑に遂行するため、道路現況及び用地界を明確にし、道路の区域・構造・兼用工 作物・占用物件等のデータを総括し把握することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 道路法第28条の規定により道路台帳の整理を行う。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 新規認定及び変更認定した路線の現況測量及び台帳作成、また、道路工事により整備された道路の台帳修正を行い、市道のデータ管理を委託する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第28条（台帳の管理義務）	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 測量及び道路台帳図の作成ができる市内の法人

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	3,000	2,398	3,000	2,916	3,000
合計			3,000	2,398	3,000	2,916	3,000

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 新規認定及び変更認定した路線の現況測量及び台帳作成、また、道路工事により整備された道路の台帳修正を行い、市道のデータ管理を委託した。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		台帳整備路線数	路線	21	9	9	3	1

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 道路台帳図が紙ベースの物しかない。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・路線名や道路の幅員の確認に訪れる方のために、インターネット上で確認できる仕組み作りを行う。 ・当市の道路台帳図は、紙ベースの物しかなく、お客様に不便をおかけしている状況で、他の市町村はすでに電子化されているため当市も電子化に向けた取り組みを行う。	目標 道路法第28条の規定により道路台帳の整理を行う。 計画 新規認定及び変更認定した路線の現況測量及び台帳作成、また、道路工事により整備された道路の台帳修正を行い、市道のデータ管理を委託する。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 市道用地確定測量事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	昭和 55 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的 道路と民有地の正確な現況を把握し、市道用地を適切に管理することを目的とする。 前回評価 維持

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 道路と民有地の正確な現況を把握し、市道用地を適切に管理する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市道大湯沼1号線の道路用地の譲与申請に伴い、市道大湯沼1号線の用地確定を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第18条（道路の区域の決定及び供用の開始等	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 測量業務ができる市内の法人

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		4,300	3,150	4,500	3,596	5,946
	合計			4,300	3,150	4,500	3,596	5,946

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・市道大湯沼1号線の道路用地の譲与申請に伴い、市道大湯沼1号線の用地確定を行った。 ・富浦1丁目外道路用地の適正な管理を行うため確定測量を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		測量実施路線数	路線	9	9	14	7	4

Check
課題等の状況 平成28年度 (事務事業の実施における課題点等を記入してください)

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	引き続き、国有林野の無償譲与のため、20項測量を実施する。	目標 今後も市道用地の適切な管理を行うため、市道用地の確定測量を行っていく。
	【2次評価】		計画
継続		総合	
【3次評価】			

事務事業名 市道用地買収事業（未処理用地）

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	昭和 55 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	道路改良事業の促進や未処理用地の解決を図り、市道敷地を適切に管理することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 道路改良事業の促進や未処理用地の解決を図り、市道敷地を適切に管理する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市道登別温泉中央通り（擁壁）と市道中央38号線（排水管用地）の未処理用地の買収を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第18条（道路管理者）	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 未利用の土地を所有している個人、法人等

事業費（財源内訳）	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	1,500	0	1,500	294	1,500
合計			1,500	0	1,500	294	1,500

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市道登別温泉中央通り（擁壁）と市道中央38号線（排水管用地）の未処理用地の買収を行った。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		未処理用地買収件数	件	2	1	0	2	-

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
-----------------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	必要に応じて、用地買収を行う。	目標 道路改良事業の促進や未処理用地の解決を図り、市道敷地を適切に管理する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
継続			
【3次評価】	総合		

事務事業名 地籍調査事業（地籍調査管理経費）

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	昭和 48 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地籍調査成果の誤り申出について、調査・検証を行い、修正することにより、より位置精度の高い土地情報を提供することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地籍調査成果の誤り申出について、調査・検証を行い、修正することにより、より位置精度の高い土地情報を提供する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 必要に応じて対応する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 国土調査法第21条（成果の保管・一般の閲覧）、土地基本法第17条（調査及び情報の提供）、地方税法第381条第7項（固定資産課税台帳の登録事項の修正申出）	対象

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		400	0	400	0	400
	合計			400	0	400	0	400

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 今年度の申し出はなかった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		修正筆数	筆	1	1	0	0	

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	必要に応じて対応する。	目標 地籍調査成果の誤り申出について、調査・検証を行い、修正することにより、より位置精度の高い土地情報を提供する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	総合		

事務事業名 市道舗装排水整備事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	登載事業

目的	市道の整備を行うことにより、都市機能の強化充実を図るとともに、交通安全を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 事業を実施することにより通行車両および歩行者の安全・安心を確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 町内会からの要望等を踏まえ、未改良路線や排水及び舗装の不良箇所の改良工事等を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第29条第1項	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円		80,400	84,200	95,400	101,200	127,000
その他		千円						
一般財源		千円		13,900	13,415	14,600	8,185	23,000
	合計			94,300	97,615	110,000	109,385	150,000

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 未改良路線や排水及び舗装の不良箇所の改良工事等を実施した。 ○道路実施設計等委託 一式 ○改良工事(652.6m)、舗装工事(2,560.5m)、排水路工事(198.1m)						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		舗装・路盤改良工事・排水路工事	m	1,150	969	1,028	3,411	1,300

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や諸経費率の変更に伴い事業費が増大している ・町内会要望では、道路や排水管の改良依頼が多く現状の事業費のままでは追いつかない状況である。 ・一つの路線を短い延長で何年もかけて工事しているので事業費が割高になっている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も継続的に事業を行っていく。	目標 事業を実施することにより通行車両および歩行者の安全・安心を確保する
	【2次評価】	行政評価会議	計画 今後も、未改良路線や排水及び舗装の不良箇所の改良工事等を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 地籍調査管理システム更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 21 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ソフト事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地籍管理システムを導入することにより、迅速に地籍調査成果の交付を行うことを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

P l a n 概 要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 地籍管理システムを導入することにより、迅速に地籍調査成果の交付を行うことを目的とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ・地籍調査成果の交付事務について迅速に対応する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 国土調査法第21条（成果の保管・一般の閲覧）、土地基本法第17条（調査及び情報の提供）	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 地籍調査実施区域における土地所有者

事業費（財源内訳）	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		519	519	519	519	519
	合計			519	519	519	519	519

D o 事 務 事 業 の 成 果 ・ 改 善 の 状 況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ・地籍調査成果の交付事務について迅速な対応が可能となった。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		閲覧件数	件	375	294	372	397	

C h e c k 課 題 等 の 状 況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
---	--------	----------------------------

評 価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	・地籍調査成果の交付事務について迅速に対応する。	目標 地籍管理システムを導入することにより、迅速に地籍調査成果の交付を行うことを目的とする。
	【2次評価】	行政評価会議	計画
【3次評価】	総合		

事務事業名 道路維持補修・市道舗装補修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	3	生活道路等の整備・改善	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	市道のパトロールや舗装及び排水の修繕、車両及び機械類の保守等日常的な維持管理を行い、市道交通の安全確保を目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市道交通の安全を確保する。		
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 市道のパトロール、補修、清掃、草刈等の維持補修及び、車両や排水ポンプ等機械類の保守等を行う。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第16条	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	600	880	600	400	600
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	118,609	111,533	118,173	113,647	118,195	
	合計		119,209	112,413	118,773	114,047	118,795	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市道のパトロール、補修、清掃、草刈等の維持補修及び、車両や排水ポンプ等機械類の保守等を行った。 ○市道パトロール 一式 ○舗装補修業務 一式 ○市道修繕 一式 ○排水等清掃 一式 ○草刈業務等 一式 ○機械類保守修繕 一式						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・資材費の高騰や諸経費率の変更に伴い必要経費が増大している。 ・市道の老朽化が著しく、現行予算内での適正管理が困難な状況であり、今後ますますその傾向が強くなる。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も継続的に事業を行っていく。	目標 市道交通の安全を確保する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 今後も、市道のパトロール、補修、清掃、草刈等の維持補修及び、車両や排水ポンプ等機械類の保守等を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 除雪委託事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章節	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
施策	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
主要な施策	4	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ソフト事業
			大型事業推進プラン	非登載事業

目的	除雪作業等を適切に行うことにより、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 冬期間の市道交通の安全を確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 降雪等の気象状況を確認し、除雪及び凍結防止剤の散布等の業務を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第16条	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	300	1,936	1,700	1,124	1,700
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	54,700	75,501	53,300	89,765	53,300	
	合計		55,000	77,437	55,000	90,889	55,000	

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市道の除排雪及び凍結防止剤の散布業務を実施した。 ○車道除雪 : 1,146路線 除雪延長 268.5km ○歩道除雪 : 102路線 除雪延長 62.5km ○融雪剤散布 : 191路線 除雪延長 60.0km						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・除雪スタートから終了までに10時間以上の時間を要する。 ・公共工事の減少に伴い除雪に必要な機械を減らすもしくは持たない業者が増えてきている。 ・建設会社の従業員の高齢化により機械に乗る人が減っている。 ・労務単価の上昇により必要経費が増大する。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も引き続き事業を継続するが、除雪業者の確保が必要であるため、出動条件の見直しの検討を進める。	目標 冬期間の市道交通の安全を確保する。 計画 今後も引き続き降雪等の気象状況を確認し、除雪及び凍結防止剤の散布等の業務を行う。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 冬道対策事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	一般会計
施策	1	総合的な交通網の整備	開始年度 平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	4	適正な維持管理	事業区分 ソフト事業
			大型事業推進プラン 非登載事業

目的	ロードヒーティングや砂箱等施設の補修及び凍結防止剤等の資材の購入を行うことなどにより冬道の安全確保を目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 冬期間の市道交通の安全を確保する。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ロードヒーティング等冬道対策施設の補修及び凍結防止剤等の資材の購入を行う。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第16条	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	1,700	904	700	542	700
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円	4,433	5,201	5,839	5,990	5,763	
合計				6,133	6,105	6,539	6,532	6,463

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) ロードヒーティング等冬道対策施設の補修及び凍結防止剤等の資材の購入を行った。 ○冬道対策施設修繕 一式 ○凍結防止剤購入 4858袋				
		指標	単位			
			H25実績	H26実績	H27実績	H28実績

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・ロードヒーティングは設置して20年ほど経っており、更新時期となっている。
--------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も継続的に事業を行っていく	目標 冬期間の市道交通の安全を確保する。
	【2次評価】	行政評価会議	計画 今後もロードヒーティング等冬道対策施設の補修及び凍結防止剤等の資材の購入を行う。
【3次評価】	総合		

事務事業名 橋梁維持補修事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 ー 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	4	適正な維持管理	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	橋梁の適切な維持管理を行うことにより、歩行者及び通行車両の安全確保を目的とする。	前回評価	維持
----	--	------	----

Plan 概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 橋梁の安全を確保する。		
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 必要箇所の橋梁補修を行う。		
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第16条	対象	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 市道に架かる橋梁

事業費(財源内訳)	名称	単位	H27	H27	H28	H28	H29
			予算	決算	予算	決算	予算
国庫支出金		千円					
道支出金		千円					
地方債		千円					
その他		千円					
一般財源		千円	2,509	2,335	2,511	2,180	2,451
	合計		2,509	2,335	2,511	2,180	2,451

Do 事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 橋梁の補修を実施した。 ○橋梁補修 一式						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

Check 課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 橋梁の老朽化が進んでいる。
-----------------	--------	---

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】	
	継続	今後も引き続き橋梁の維持管理を行う。		目標 今後も、橋梁の安全を確保する。
	【2次評価】	行政評価会議		計画 今後も、引き続き橋梁の維持管理を行う。
継続				
【3次評価】	総合			

事務事業名 除雪機械更新事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 23 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 33 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	4	適正な維持管理	大型事業推進プラン	登載事業

目的	市道の円滑な除雪作業を行うために必要な除雪機械を確保し、冬期間における歩行者及び通行車両の安全を確保することを目的とする	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 除雪専用の機械を保有することにより冬期間の除雪をスムーズに行えるようにする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 老朽化している除雪機械を計画的に更新する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法第16条	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市道

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	防衛省施設周辺対策事業補助金	千円	20,000	20,088	25,512	22,275	
道支出金		千円						
地方債		千円	5,400	5,300	6,800	5,900		
その他		千円						
一般財源		千円	1,979	1,868	4,665	3,422		
合計				27,379	27,256	36,977	31,597	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 除雪機械を購入した。 ○ロータリー除雪車 1台						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		市所有除雪機械台数	台	6	6	7	8	8

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も引き続き除雪機械の更新を進める。	目標 除雪専用の機械を保有することにより冬期間の除雪をスムーズに行えるようにする
	【2次評価】	行政評価会議	計画 古くなった除雪機械から交付金などを活用し順次更新して行く。
【3次評価】	総合		

事務事業名 橋梁長寿命化事業

区分	No.	名称	部・グループ	都市整備部土木・公園G
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 26 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	事業区分	ハード事業
主要な施策	4	適正な維持管理	大型事業推進プラン	登載事業

目的	橋梁の延命化によるライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を目的として策定した橋梁長寿命化計画に基づき事業を実施していく。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 橋梁長寿命化計画に基づき事業を行っていく。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 緊急性の高い橋梁を重点的に改良し安全な通行を確保する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市が管理する橋梁

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金	千円	28,200	23,898	18,900	17,010	24,000
道支出金		千円						
地方債		千円	22,500	19,000	12,700	10,400	18,500	
その他		千円						
一般財源		千円	3,200	4,378	1,415	2,464	3,026	
合計				53,900	47,276	33,015	29,874	45,526

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 橋梁修繕 1橋 橋梁点検 24橋 本事業については、国の交付金事業の対象となるなど、国として必要な事業として位置付けられており、本市としても実施することとした。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		既設橋梁の修繕数	橋	-	1	3	1	2

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ・交付金の査定率が大きく、計画より遅れが生じてきている。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	今後も継続的に事業を行っていく	目標 橋梁長寿命化計画に基づき事業を行っていく 計画 緊急性の高い橋梁を重点的に改良し安全な通行を確保していく。
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	総合		

事務事業名 道路付属施設整備事業

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	一般会計
施策	1	総合的な交通網の整備	開始年度 平成 27 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	終了年度 平成 ー 年度
主要な施策	4	適正な維持管理	事業区分 ハード事業
			大型事業推進プラン 登載事業

目的	道路や道路の付属物【街路灯、大型道路標識、法面、落石防護網、擁壁、トンネルなど】を点検し、歩行者や通行車両への潜在的な危険を把握し未然に修繕事業を行う。	前回評価	維持
----	--	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市道を通行する車両や歩行者が安全・安心に通行できるよう事業を進めて行く。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 点検・診断・修繕を行いながら市道の安全な通行を確保する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 道路法	(ハード事業の場合は、施設名を記入) 対象 市が管理する道路付属物

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算	
	国庫支出金	社会資本整備総合交付金		千円	7,800	5,460	34,800	18,240	17,100
道支出金			千円						
地方債			千円	5,200	3,800	21,400	11,100	10,300	
その他			千円						
一般財源			千円	600	445	2,442	2,157	1,220	
合計					13,600	9,705	58,642	31,497	28,620

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 大湯沼落石防護網修繕工事 温泉中央通り擁壁補修に伴う調査委託						
		本事業については、国の交付金事業の対象となるなど、国として必要な事業として位置付けられており、本市としても実施することとした。						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		道路付属物修繕数	箇所			1	1	1

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) 擁壁や法面など補修が必要な箇所が発見されている。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	事業費の平準化を行い事業を実施する。	目標 市道を通行する車両や歩行者が安全・安心に通行できるよう事業を進めて行く。 計画 点検・診断・修繕を行いながら市道の安全な通行を確保する。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 **新しい除雪体制**

区分	No.	名称	部・グループ
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	都市整備部土木・公園G
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	会計種別
施策	1	総合的な交通網の整備	開始年度 平成 - 年度
基本的な方向	1	道路網の整備・適正な維持管理	終了年度 平成 - 年度
主要な施策	4	適正な維持管理	事業区分
			大型事業推進プラン

目的	今後の社会情勢や市の財政事情を考慮し、除雪出動に関する基準策定、市民協働の取り組み、情報発信の推進するなど、新しい除雪に関する取組を行い、除雪の効率化、冬道に関する市民満足度の向上を目的とする。	前回評価
----	---	------

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 除雪の効率化、冬道に関する市民満足度の向上を目標とする。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) 除雪出動に関する基準策定、市民協働の取り組み等を盛り込んだ計画を策定する。	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入)	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入)

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
	道支出金		千円					
	地方債		千円					
	その他		千円					
	一般財源		千円					
	合計			0	0	0	0	0

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 除雪計画の策定作業を進めた。 ・冬道検討委員会の実施						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください)
--------	--------	----------------------------

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	除雪計画を策定し、除雪の効率化、市民満足度の向上を図る。	目標 除雪の効率化、冬道に関する市民満足度の向上を目標とする。 計画 除雪計画を策定し、除雪の効率化、市民満足度の向上を図る。
	【2次評価】	行政評価会議	
継続	【3次評価】	総合	

事務事業名 地方生活バス路線維持費補助金

区分	No.	名称	部・グループ	市民生活部市民サービスG
章	4	調和の中でふるさとを演出するまち	会計種別	一般会計
節	3	道路交通網の整ったまちをつくる	開始年度	平成 13 年度
施策	1	総合的な交通網の整備	終了年度	平成 ー 年度
基本的な方向	2	交通手段の確保	事業区分	ソフト事業
主要な施策	1	人にやさしい交通手段の確保	大型事業推進プラン	非登載事業

目的	地域住民の生活に必要なバス路線の維持が輸送人員の減少等により困難となっている現状から、生活交通路線の確保方策の一環として、国と地方公共団体が適切な役割分担を図りつつ、バス路線の運行の維持等を図り、地域住民の交通手段を確保することを目的とする。	前回評価	維持
----	---	------	----

概要	目標	(平成28年度で特に目指すべき目標を記入してください) 市民の交通手段の確保、利便性の維持のためにも、バスの利用促進を図るため積極的にPRしていく。	
	計画	(目標を達成するために平成28年度に事務事業を実施する計画を記入してください) ○バス利用者促進策の検討 ○乗合バス事業者との連携強化	
	根拠	(根拠となる法令・条例・規則・要綱等を全て記入) 登別市生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱	対象 (ハード事業の場合は、施設名を記入) 乗合バス事業者

事業費(財源内訳)	名称		単位	H27予算	H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
	国庫支出金		千円					
道支出金		千円						
地方債		千円						
その他		千円						
一般財源		千円		5,095	4,560	4,560	4,920	5,407
	合計			5,095	4,560	4,560	4,920	5,407

事務事業の成果・改善の状況	平成28年度	(実績を簡潔に記入してください) 市内路線及び複数市町村路線のうちの赤字路線について、「登別市生活交通路線維持対策事業費補助金交付要綱」に基づき算出された金額を補助金として交付した。 【補助対象期間等】平成27年10月1日から平成28年9月30日までの運行実績に基づく。 【補助対象運行系統数】市内路線6系統						
		指標	単位	H25実績	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標
		補助対象路線数（「対象なし」が望ましい）	路線	7	8	8	6	8

課題等の状況	平成28年度	(事務事業の実施における課題点等を記入してください) ○路線によっては、乗降者数が減少傾向にあり、今後、ますます市の負担が増加する恐れがある。 ○バスを積極的に利用してもらうための周知方法等を検討する必要がある。
--------	--------	--

評価	【1次評価】	今後の取組【Action】 担当グループ	今後の目標・計画【Plan】
	継続	生活バス路線の維持が困難になっている路線に対して、引き続き補助を行う。	目標 市民の交通手段の確保、利便性の維持のためにも、バスの利用促進を図るため、積極的にPRしていく。 計画 ○バス利用者促進策の検討 ○乗合バス事業者との連携強化
	【2次評価】	行政評価会議	
【3次評価】	継続	総合	